



LG

Life's Good

日本語

取扱説明書

IPS LED 液晶モニター

このたびは LG モニター製品をお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

29UM65

29UB65

www.lg.com/jp

目次

3 ライセンス

4 設置する

- 4 付属品を確認する
- 5 各部の名称
- 7 持ち運びのご注意
- 8 モニターを設置する
 - 8 - スタンドベースを組み立てる
 - 9 - ケーブルホルダーの使用
 - 10 - スタンドベースを取り外す
 - 12 - テーブルに設置する
 - 13 - スタンドの高さの調整
 - 14 - 見やすい角度に調整する
 - 15 - ピボット機能
 - 16 - ケンジントン (Kensington) ロック
 - 16 - 壁掛け金具を取り付ける
 - 17 - 壁に取り付ける

18 接続する

- 18 PCを接続する
 - 18 - DVI接続
 - 19 - DisplayPort接続
 - 19 - HDMI接続
- 20 AV機器に接続する
 - 20 - HDMI接続
- 21 外部機器に接続する
 - 21 - ヘッドホンを接続する

22 LG MONITOR SOFTWAREのインストール

24 詳細設定

- 24 メインメニューの表示
- 25 ユーザー設定
 - 25 - OSDメニュー
 - 25 - -かんたん設定
 - 26 - -機能
 - 27 - -PBP(ピクチャーバイピクチャー)
 - 28 - -スクリーン
 - 29 - -設定
 - 30 - -リセット
 - 31 - ブルーライト低減モードの設定

32 困ったとき

34 仕様

- 35 工場サポートモード(プリセットモード、DVI-D/HDMI/PC DisplayPort)
- 35 HDMIタイミング(映像)
- 35 電源インジケーター

36 正しくご使用いただくために

- 36 モニターを使用するときの正しい姿勢

ライセンス

該当するライセンスはモデルによって異なります。ライセンスの詳細については、www.lg.comを参照してください。



HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

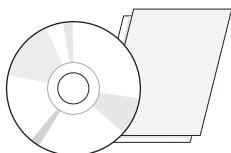


VESA、VESAロゴ、Display Port Complianceロゴ、Display Port Complianceロゴ（デュアルモードソース用）はすべて、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

設置する

付属品を確認する

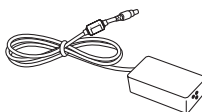
箱の中身を確認してください。付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。



CD-ROM / カード



電源コード



AC/DC アダプタ



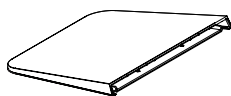
HDMI ケーブル

29UB65

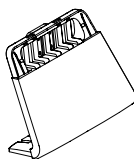


スタンドベース

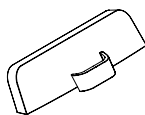
29UM65



スタンドベース



スタンドネック



ケーブルホルダー

×2 (黒色)

+

×2 (銀色)

ネジ



注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 非正規の付属品の使用による破損や怪我は、保証の対象外になります。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。

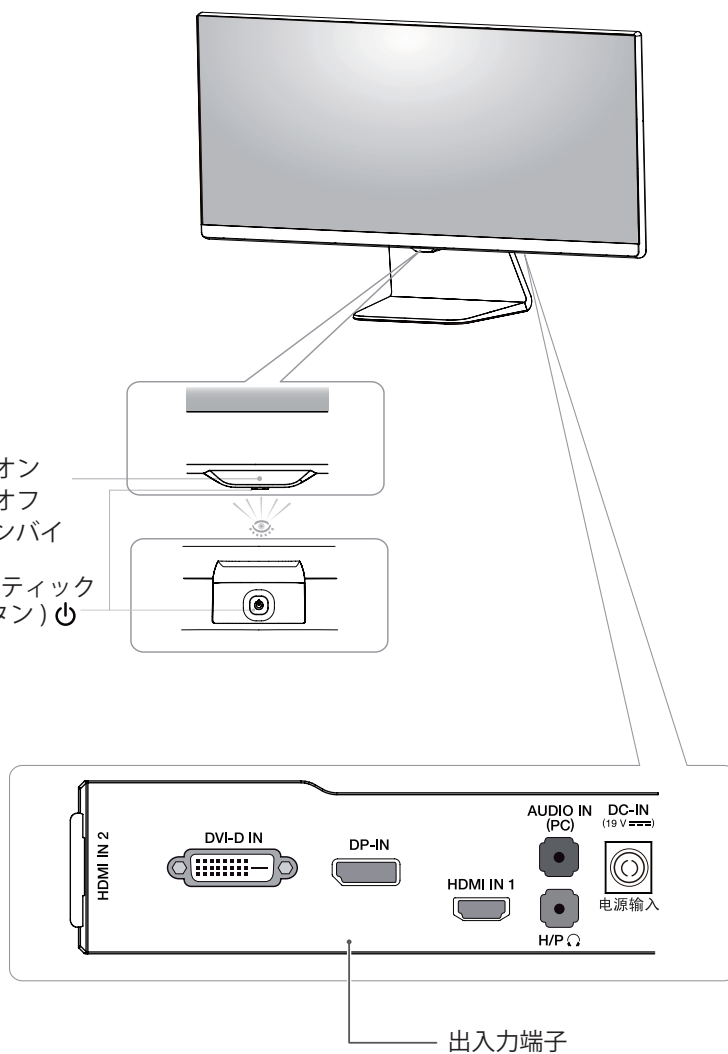
各部の名称

29UM65

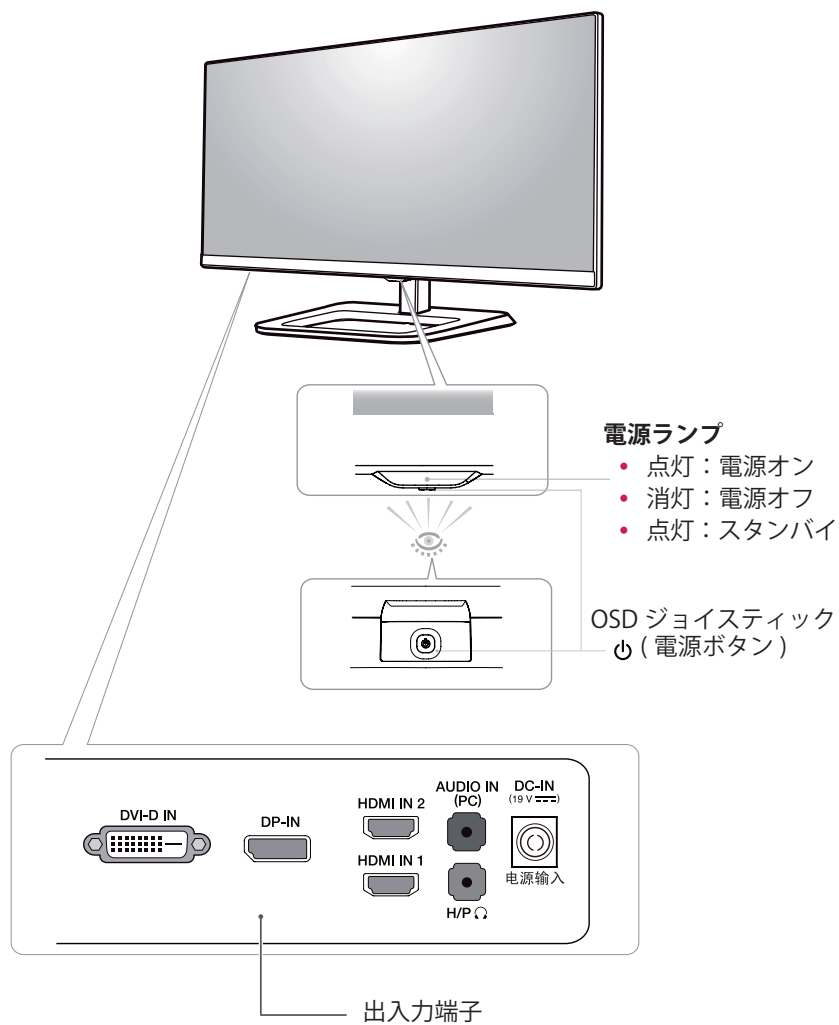
電源ランプ

- 点灯：電源オン
- 消灯：電源オフ
- 点灯：スタンバイ

OSD ジョイスティック
(電源ボタン) 



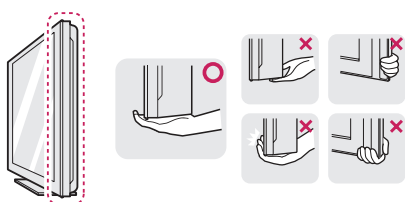
29UB65



持ち運びのご注意

モニターを動かしたり持ち上げたりする際、以下に注意して、モニターに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

- モニターの梱包に使用されていた箱などを使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- モニターのフレームの上下をしっかり持ってください。パネルを直接つかまないでください。



- モニターを持つ場合、製品の背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。

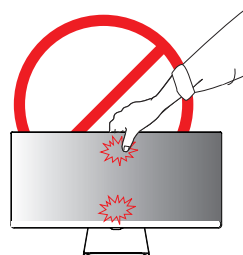


- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えたりしないでください。
- モニターの映像ガーを運ぶ際は、モニターを縦にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

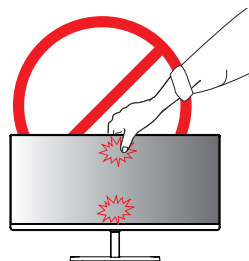
注意

- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。

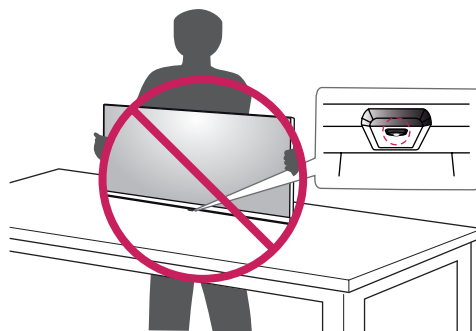
29UM65



29UB65



- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドベースを利用しないとモニターがぐらついて倒れるおそれがあり、モニターの損傷または怪我の原因となります。また、OSD ジョイスティックの故障につながるおそれがあります。



モニターを設置する

スタンドベースを組み立てる

29UM65

- 1 画面を下向きにして置きます。



注意

- 画面に傷が付かないように、モニターを置く前にやわらかい布などを敷いてください。

- 2 スタンドネックをスタンドベースに差し込み、スタンドベースの底面にある2箇所のネジ穴にネジを締めて固定します。

スタンドネック

スタンドベース

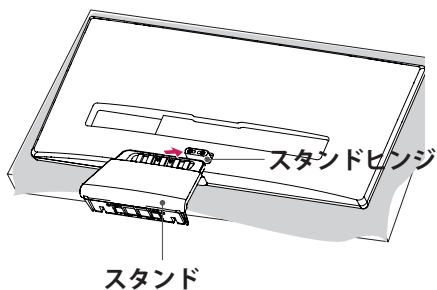
2



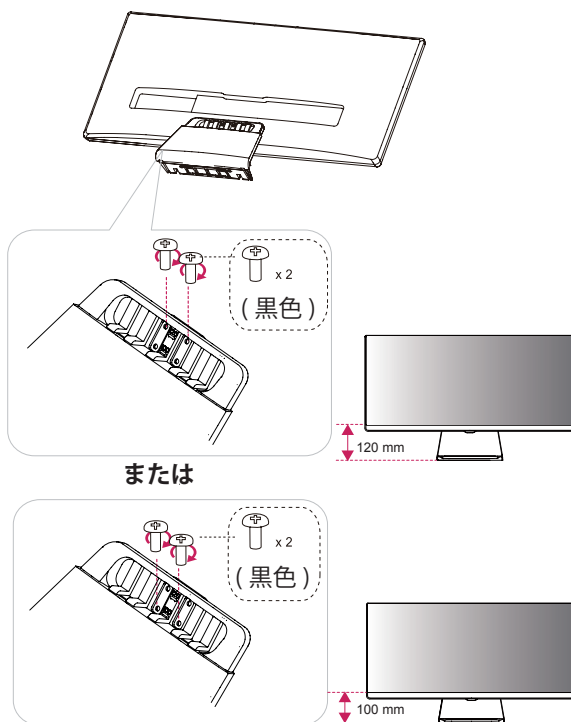
x2

(銀色)

- 3 スタンド本体の向きを確認し（前、後）、スタンドヒンジにスタンド本体を取り付けます。



- 4 2本のネジでスタンドベースをモニターの背面に固定します。



注意

ネジを締めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。強く締めすぎたことにより破損した場合は、保証の対象外になります。



注意

スタンドを取り付ける際は、本機にキズをつけたり、けがをしないように十分注意してください。

29UB65

- 1 画面を下向きにして置きます。



注意

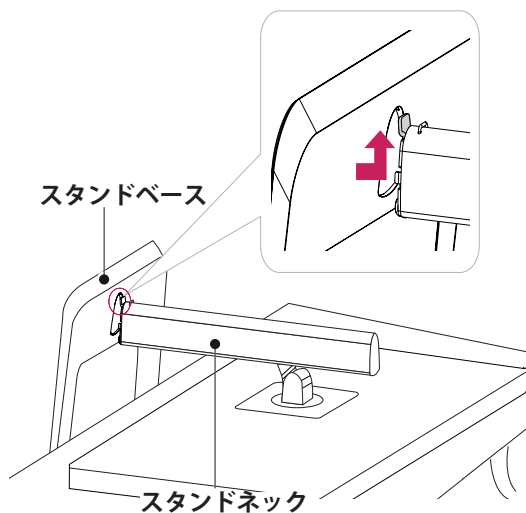
- 画面に傷が付かないように、モニターを置く前にやわらかい布などを敷いてください。

- 2 スタンドベースをスタンドネックのフックに挿入します。

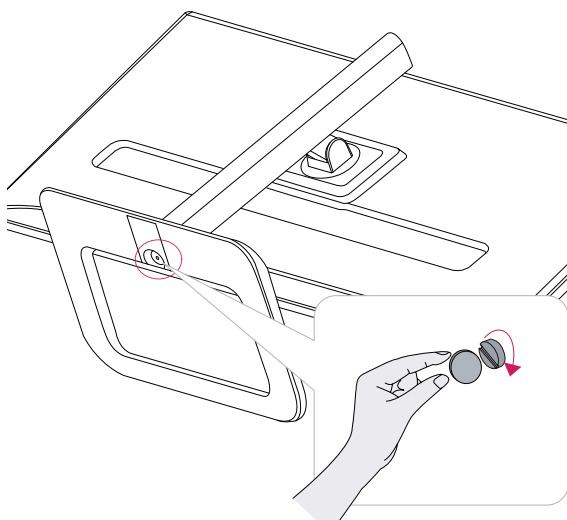


注意

スタンドを取り外す際は、本機にキズをつけたり、けがをしないように十分注意してください。



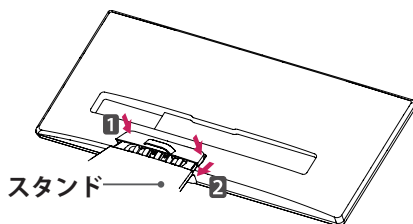
- 3 スタンドベース底面のネジを硬貨を使用して右方向に回して固定します。



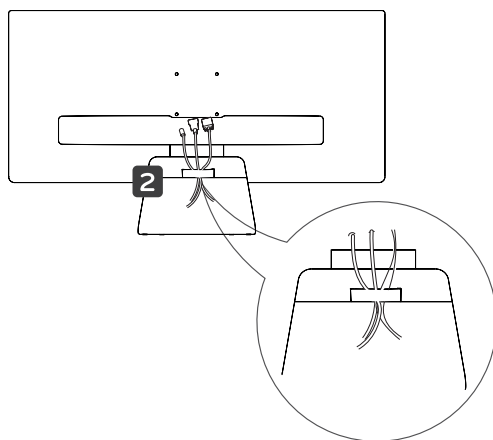
ケーブルホルダーの使用

29UM65

- 1 まず、図のように、スタンド本体にケーブルホルダーを押す。次に、スタンド本体にケーブルホルダーを固定する。



- 2 ケーブルホルダーにケーブルを入れます。



スタンドベースを取り外す

29UM65

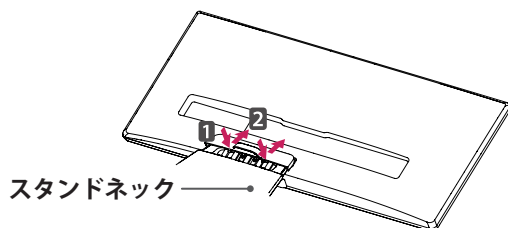
- 1 画面を下向きにして置きます。



注意

- 画面に傷が付かないように、モニターを置く前にやわらかい布などを敷いてください。

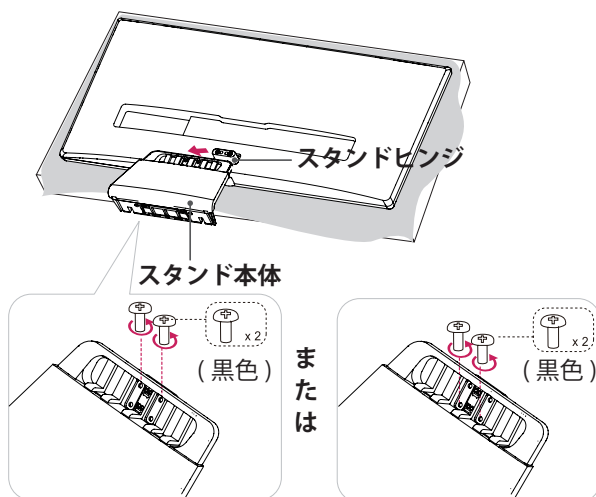
- 2 まず、図に示すように、ケーブルホルダを押して、次に、スタンドネックからケーブルホルダを外します。



スタンドネック

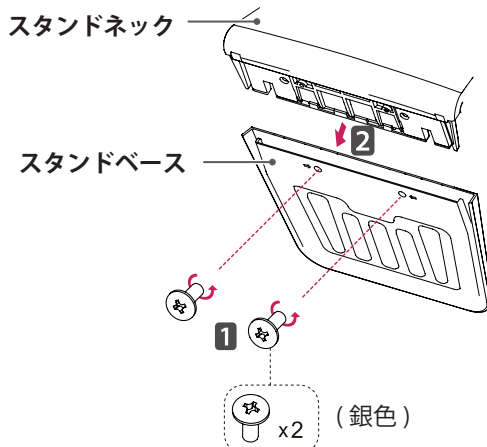
- 3 スタンドネックの後ろにある二つのネジを取り外します。

図のようにしてスタンドをスタンドヒンジから取り外します。



- 4 スタンドベースから二つのネジを取り外します。

スタンドベース をスタンドネックからはずしてください。



注意

- モニターを上下逆さにした状態でスタンドをつかんで持ち運ばないでください。モニターがスタンドから外れて、落下によりけがをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニター画面には触れないでください。モニター画面が破損する場合があります。モニター画面ではなく、スタンドネックまたはフレーム部分をつかんでください。

29UB65

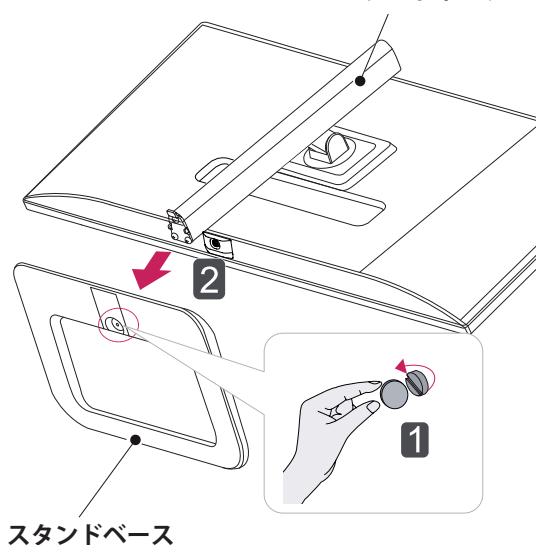
- 1 画面を下向きにして置きます。

注意

- 画面に傷が付かないように、モニターを置く前にやわらかい布などを敷いてください。

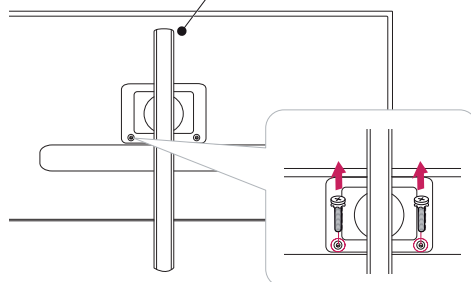
- 2 ① スタンドベース底部のネジを硬貨などを使用して左回りに回してゆるめます。
② スタンドベースを取り外します。

スタンドネック



- 3 スタンドネックを取り外す場合は、スタンドネックを固定しているネジを2箇所とりはずします。

スタンドネック



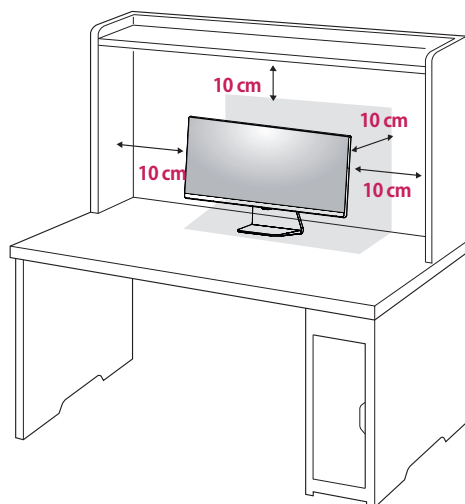
注意

- モニタを上下逆さにして運ばないでください。スタンドが落ちて、破損やけがの原因となるおそれがあります。
- モニタを持ち上げる場合または移動する場合に画面の破損を避けるため、スタンドまたはフレームをつかみます。これにより、パネルに加わる圧力を避けることができます。

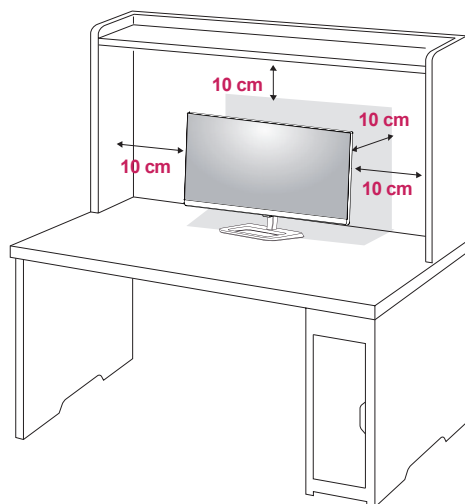
テーブルに設置する

- 1 モニターのを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。
十分な通気性を確保するため、背後および周囲 10 cm 以上の空間を空けて設置してください。

29UM65

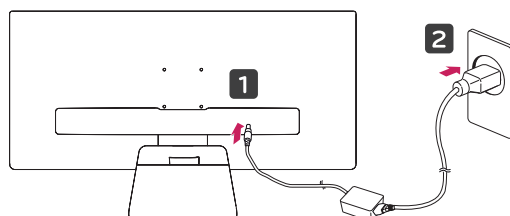


29UB65

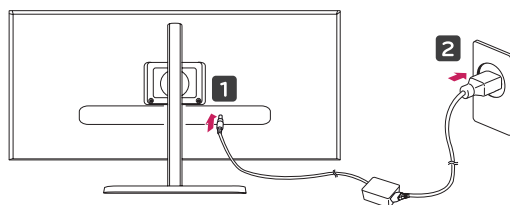


- 2 モニター本体に AC-DC アダプタを接続して、AC アダプタと電源コードをつないで電源プラグをコンセントに差し込みます。

29UM65



29UB65



- 3 モニター本体下部の⏻(OSDジョイスティック)を押して電源をオンにします。



注意

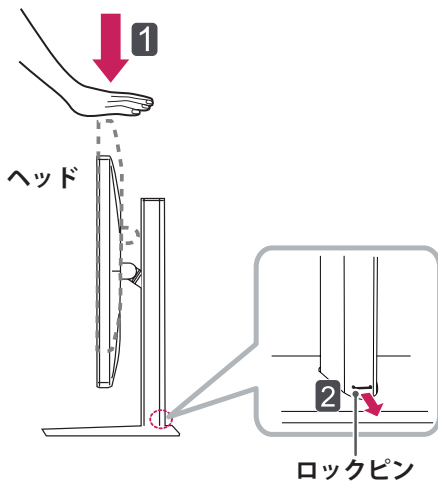
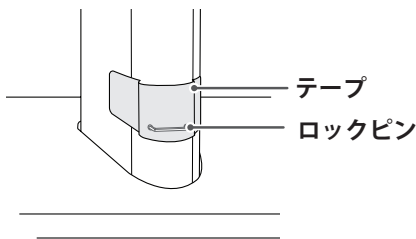
- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電するおそれがあります。

スタンドの高さの調整

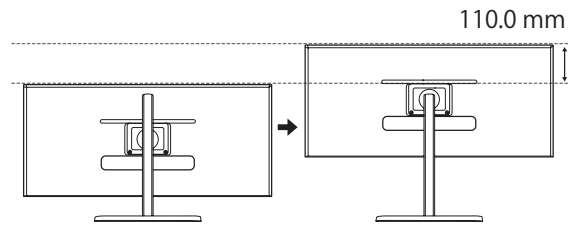
29UB65

- 1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 スタンドネックの背面下部に貼り付けられているテープをはがし、ヘッドを下に押しながらロックピンを引き抜きます。

スタンドネック



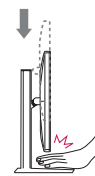
- 3 最大で 110.0 mm の高さに調整できます。



ヒント

- 高さを調整セットしたあとに、再度ロックピンを再挿入する必要はありません。
- モニターを輸送する際は、ロックピンで昇降スタンドを固定の上、梱包して下さい。
- 昇降スタンドを固定しないと、梱包箱にモニターが入らなかったり、スタンド破損や画面を破損する恐れがあります。

警告

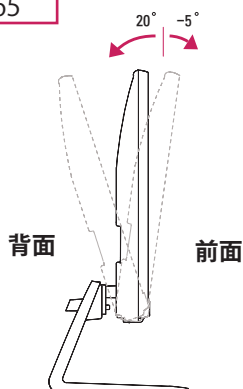


- モニターの高さを調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手を置かないでください。はさんでケガをする恐れがあります。

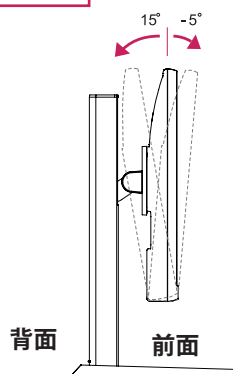
見やすい角度に調整する

- 1 スタンドに取り付けたモニター本体を直立させた状態にします。
- 2 画面の角度を調節してください。見やすい角度に画面の角度を前後に調整してください。

29UM65



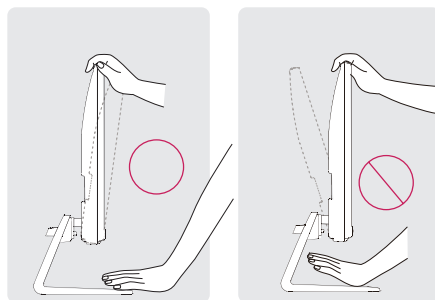
29UB65



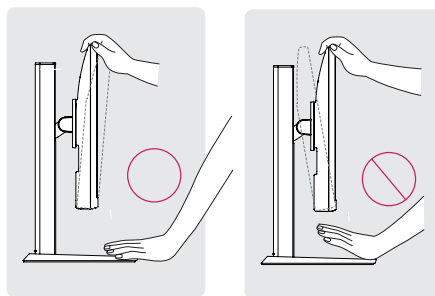
! 注意

- モニターの角度を調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手を置かないでください。はさんでケガをする恐れがあります。

29UM65

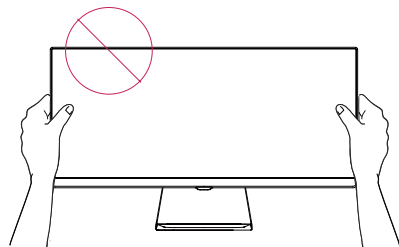


29UB65

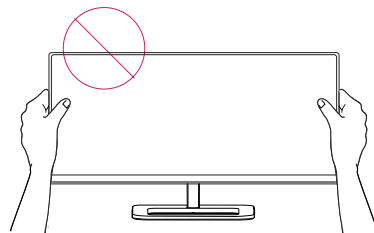


- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面のパネルには触れないようにしてください。

29UM65



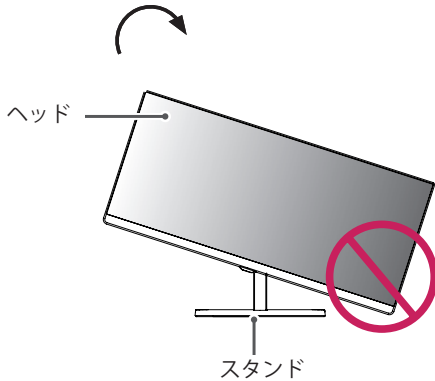
29UB65



29UB65

ピボット機能

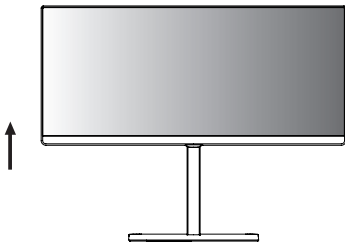
ピボット機能とは、モニターを時計回りに90度回転させて、画面を縦に表示することができる機能です。(この機能は29UB65のみ可能です。)



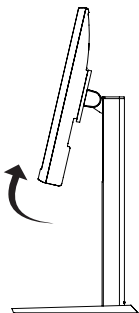
注意

- 下記の手順に従って、モニターやスタンドが傷つかないように、モニターとモニタースタンドが接触しないようにして回転させてください。

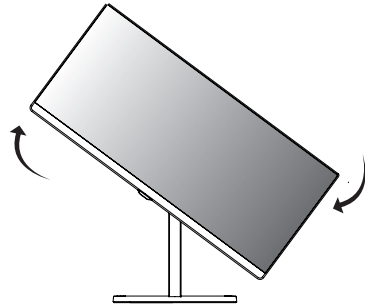
- 1 モニターの高さを一番上まで上げます。



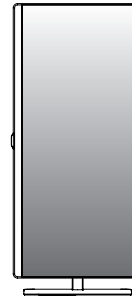
- 2 図のように角度調節でもっとも画面が上を向くようにします。



- 3 モニターを時計回りに回転させます。



- 4 モニターを 90 度回転させて、角度、高さを整えます。



注意

- ケーブルを接続したままモニターを回転させる場合は、ケーブルが抜けたり、巻き込まないように注意してください。

ヒント

- モニターを回転させても表示されているコンテンツは回転しません。OS 上で操作して画面を切り替えてください。

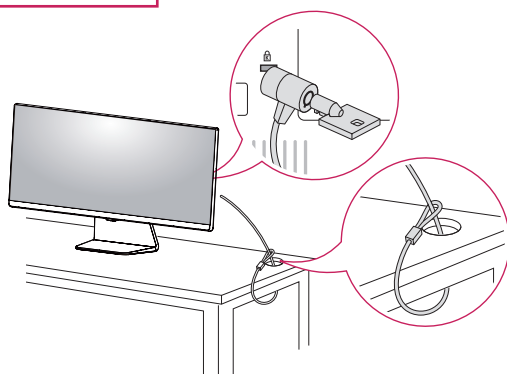
ケンジントン (Kensington) ロック

ケンジントンロックを利用することにより盗難防止に効果があります。

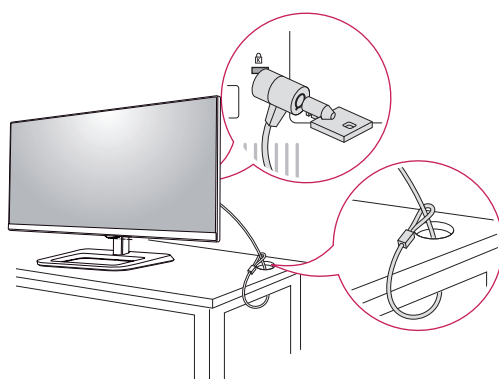
Kensington ロック用のスロットは、モニターの背面にあります。取り付けと使い方の詳細については、Kensington セキュリティ システム付属の取扱説明書を参照するか、<http://www.kensington.com> をご覧ください。

Kensington ロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。

29UM65



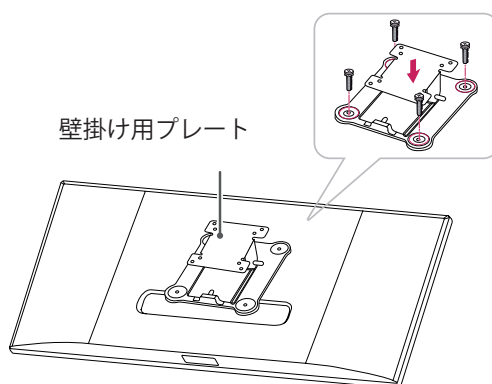
29UB65



壁掛け金具を取り付ける

本機は、VESA 規格に準拠しています。

- 1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いてください。
- 2 モニター背面に壁掛け用金具を置き、モニターのネジ穴に合わせます。
- 3 ドライバーで4箇所ネジ止めして、モニターと金具を固定します。



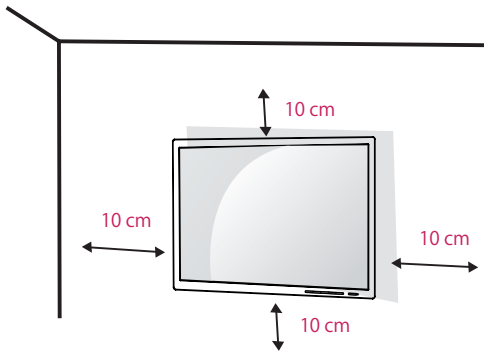
！ メモ

- Kensington ロックのお求めは最寄りのPCショップや家電量販店にお問い合わせください。

壁に取り付ける

使用時の発熱による本体の高温化を避けるため、上下左右および壁より 10cm 以上の空間を確保できる場所に設置してください。

詳細な設置方法については、別売の壁掛け金具に付属する取扱説明書をご参照ください。



壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

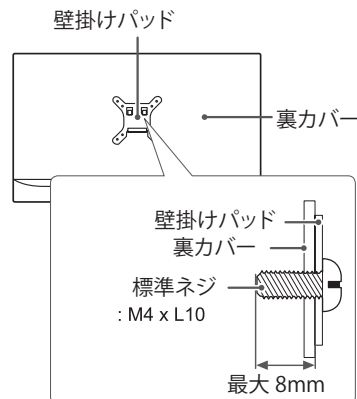
- 1 VESA 規格に準拠したネジと壁掛け用ブラケットを使用してください。
- 2 壁掛け金具に付属しているネジよりも長いものを使用すると、モニターの内部が破損するおそれがあります。
- 3 VESA 規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。当社は、規格外のネジの使用に関する事故については、保証の対象外となります。
- 4 次の VESA 規格に従って使用してください。
 - 784.8 mm 以下
 - * 壁掛け用プレートの厚み：2.6 mm
 - * ネジ：直径 4.0 mm x ピッチ 0.7 mm x 長さ 10 mm
 - 787.4 mm 以上
 - * VESA 規格に準拠した壁掛け用金具とネジを使用します。

VESA (A x B)	75 x 75
スタンドのネジ	M4 x 10
必要なネジの数	4



注意

- 感電のおそれがありますので、モニターを移動または設置する場合は、先に電源コードを抜きます。
- モニターを天井または傾きのある壁面に取り付けると、製品が落下し重大なけがを負う可能性があります。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。締めすぎにより破損した場合、保証の対象外となるのでご注意ください。
- VESA 規格に適合するネジおよび壁掛けブラケットを使用してください。誤った使用方法や、VESA 規格に準拠しない金具の使用による破損やケガについては弊社は一切の責任を負いません。
- 外表面から裏カバーまでネジの長さは 8 mm 以下にしてください。



ヒント

- VESA 規格に準拠する壁掛け金具とネジを使用してください。
- 壁掛け金具の説明書、取り付けに必要な部品は金具に付属しています。
- 壁掛けブラケットは別売りです。
- 詳細については、壁掛けブラケットに付属の取扱説明書をご覧ください。

接続する

PC を接続する

本機は、プラグアンドプレイに対応しています。

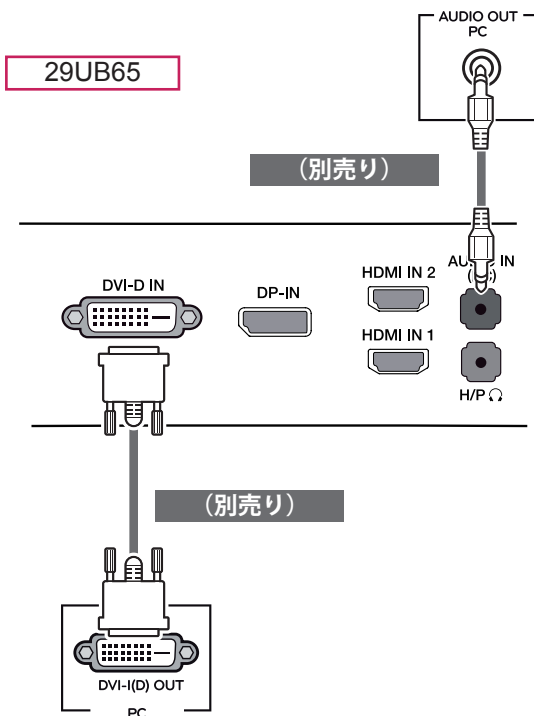
* プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れたら、設定や操作をしなくても、PC で認識して OS の標準ドライバがインストールされます。

DVI 接続

PC からモニターにデジタル映像信号を伝送します。次の図に従って、PC とモニターを DVI ケーブルで接続します。

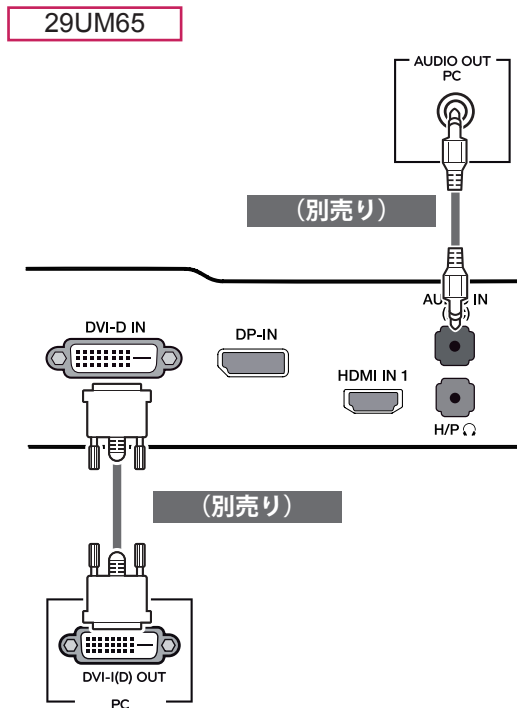
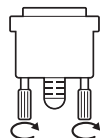
OSD ジョイスティックを押して OSD メニューを表示し、「入力」から DVI-D を選択します。

DVI 入力モードで音声を出力する場合は、オーディオケーブル（モニター側はステレオミニジャック）を使用して PC の AUDIO OUT ポートからモニターの AUDIO IN (PC) ポートに接続してください。



注意

- 信号入力ケーブルを接続し、時計回りに回してケーブルをしかりと固定します。
- DVI-HDMIケーブルを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。

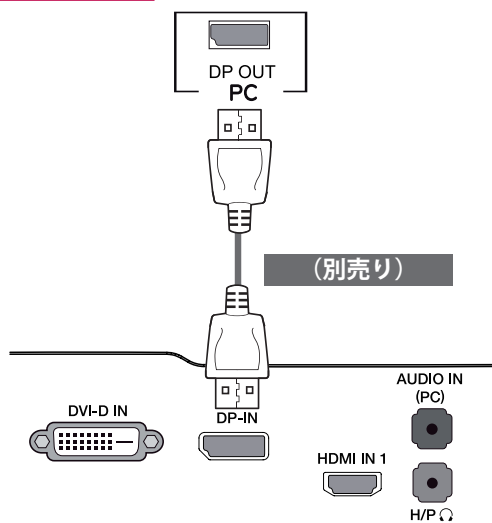


DisplayPort 接続

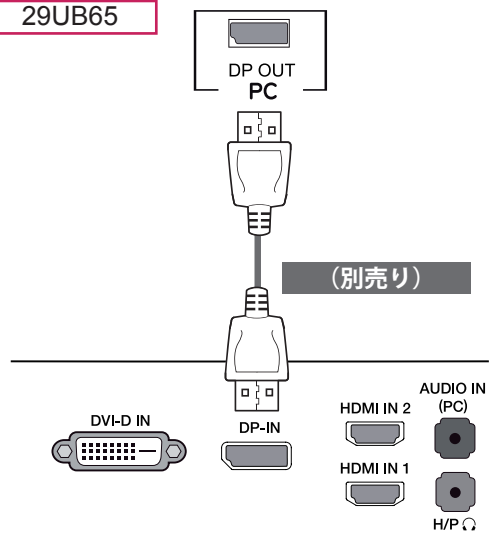
PC からモニターにデジタル映像信号および音声信号を送ります。次の図のように、DisplayPort ケーブルで PC をモニターに接続します。

OSD ジョイスティックを押して OSD メニューを表示し、「入力」から DisplayPort を選択します。

29UM65



29UB65



注意

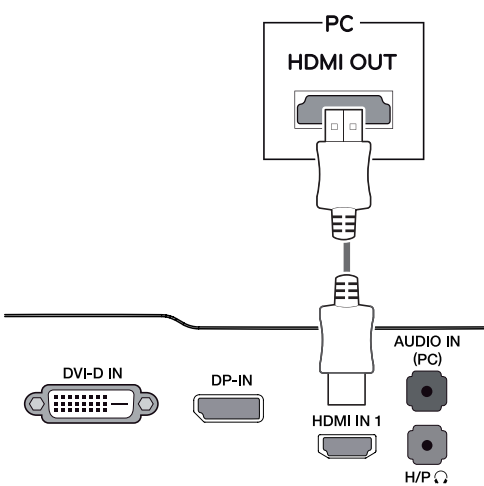
- PC の DisplayPort のバージョンによっては、ビデオ出力または音声出力に対応していないことがあります。

HDMI 接続

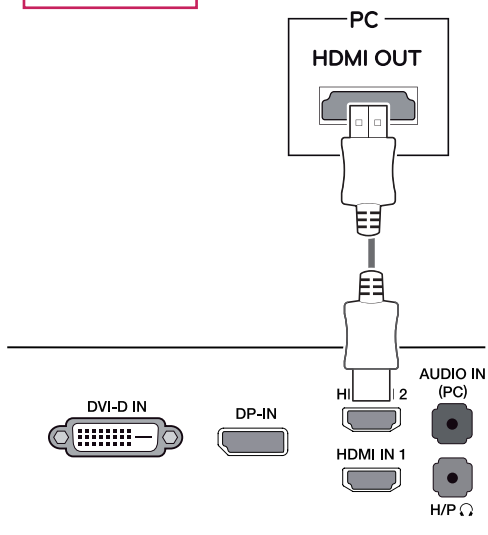
PC および AV 機器からモニターの映像がにデジタル映像信号および音声信号を送ります。下図のように、HDMI ケーブルで PC および AV 機器をモニターの映像がに接続します。

OSD ジョイスティックを押して OSD メニューを表示し、入力から接続している HDMI 端子 (HDMI1 または HDMI2) を選択します。

29UM65



29UB65



注意

- PC を HDMI で接続したときは、画面の解像度や画面サイズが正常に表示されないことがあります。
- DVI-HDMI ケーブルを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。

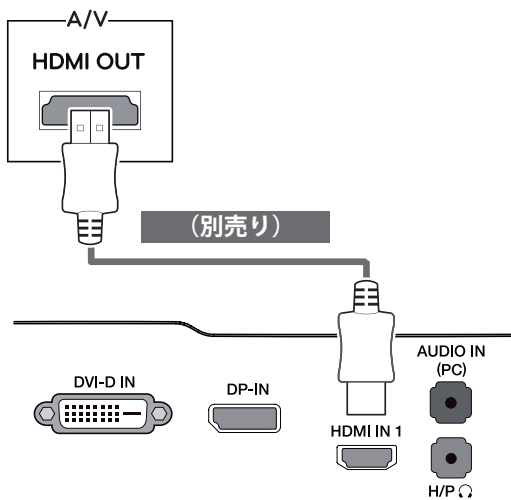
AV 機器に接続する

HDMI 接続

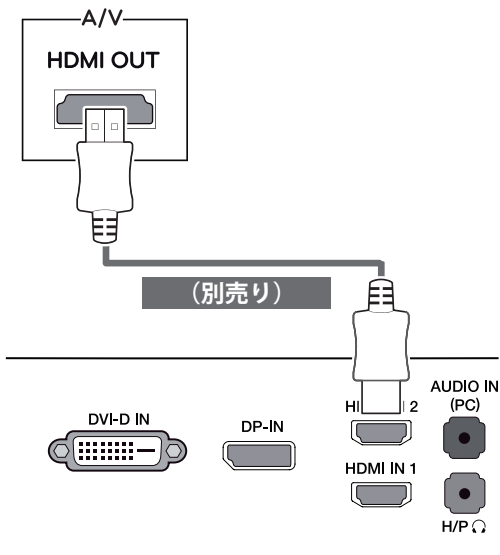
PC および AV 機器からモニターの映像がにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。下図のように、HDMI ケーブルで PC および AV 機器をモニターの映像がに接続します。

OSD ジョイスティックを押して OSD メニューを表示し、「入力」から接続している HDMI 端子 (HDMI1 または HDMI2) を選択します。

29UM65



29UB65



! メモ

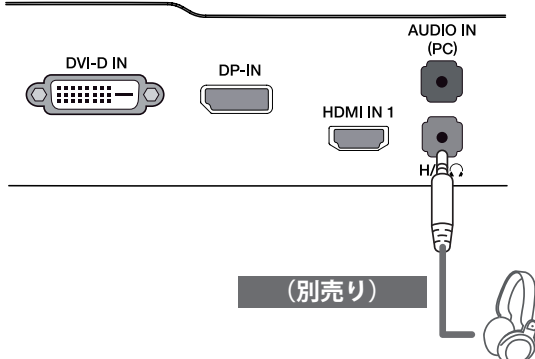
- DVI-HDMIケーブルを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。

外部機器に接続する

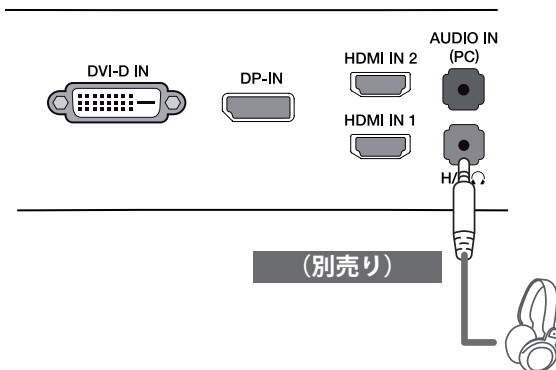
ヘッドホンを接続する

ヘッドフォンポートを使用して、周辺機器をモニターの映像がに接続します。下図のように接続します。

29UM65



29UB65

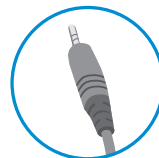


ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L 型タイプ



ストレート タイプ

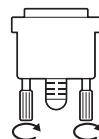
ヒント

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。



注意

- 信号入力ケーブルを接続し、時計回りに回してケーブルをしっかりと固定します。
- 画面を指で押さないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。スクリーンセーバーのご使用をおすすめします。



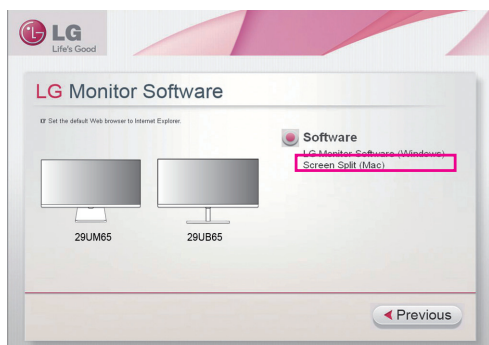
ヒント

- 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは製品不良ではありません。

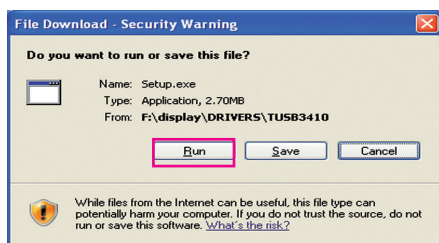
LG MONITOR SOFTWARE のインストール

付属の取扱説明書 CD を PC の CD ドライブに挿入し、LG Monitor Software をインストールします。

- 1 標準の Web ブラウザを Internet Explorer に設定します。
- 4 [ライセンス契約] の画面で [同意する] をクリックし、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。



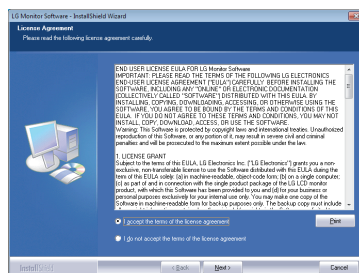
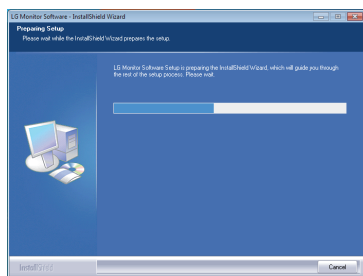
- 2 CD のメニュー画面が開くので、「LG Monitor Software」をクリックします。ファイルのダウンロードのウィンドウが表示されたら、[Run (実行)] ボタンをクリックします。（ファイルのダウンロードのウィンドウは、オペレーティングシステムと Internet Explorer のバージョンによって異なりますが、インストールの手順は同じです）。



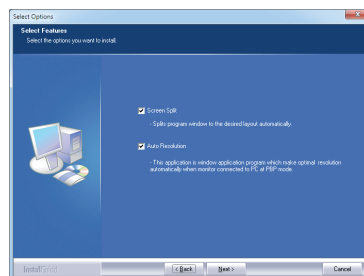
注意

- Windows 7 の場合、Service Pack 1 以上がインストールされている必要があります。

- 3 手順に従ってインストールします。



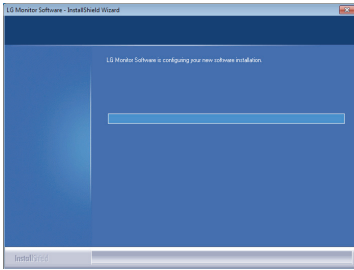
- 5 インストールするプログラムを選択します。



ヒント

- Screen Split：画面を指定どおりに自動分割できます。
このプログラムは Windows XP をサポートしていません。
- Auto Resolution: PBP モードでモニターを PDC に接続する際に、解像度を自動的に最適な設定に変更するプログラムです。
※このプログラムでは [PBP] モードはサポートされていません。
※使用しているディスプレイが 1 つの場合、[拡張] モードはサポートされません。
※このプログラムは Windows XP & Vista をサポートしていません。

- 6 下図のように LG Monitor Software のインストールが開始します。



- 7 [Select Features (機能の選択)] ページで選択したプログラムが自動的にインストールされます。

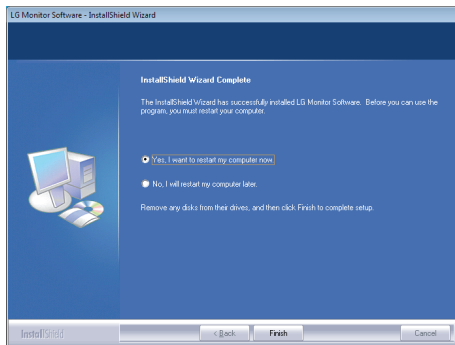


Please wait. Installing Screen Split ...



Please wait. Installing Auto Resolution...

- 8 インストールが完了したら、システムを再起動します。

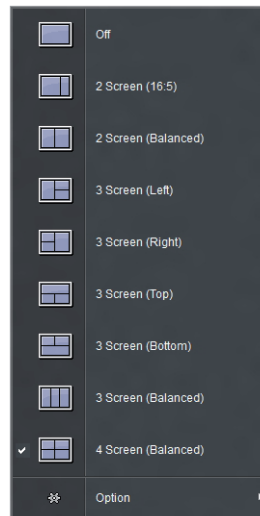


ヒント

Screen Splitを実行すると、PC画面の右下にあるシステムトレイにScreen Splitアイコンが表示されます。

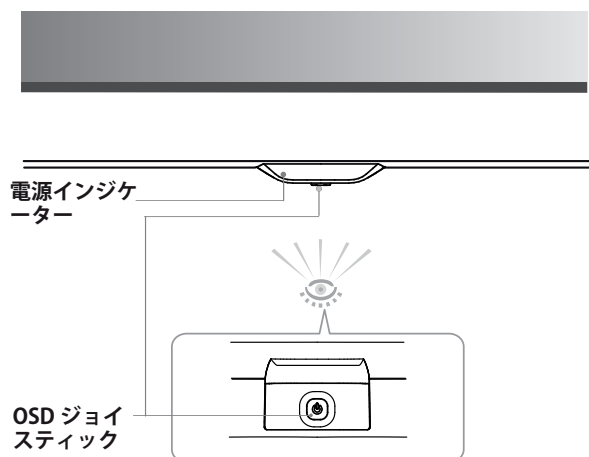


Screen Splitアイコンを右クリックし、希望のレイアウトを選択してください。

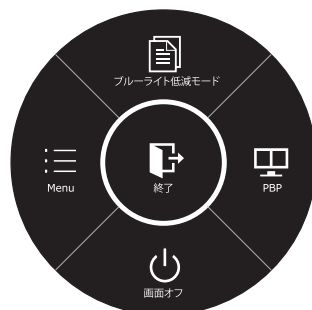


詳細設定

メイン メニューの表示



ナビゲーション OSD



◎ 長押し: 画面オフ

- 1 OSD ジョイスティック (◎) ボタンを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀◎), 右 (◎▶), 後ろ (◎↑), 手前 (◎↓) へ軽く倒して各種の設定を行います。
- 3 OSD ジョイスティック (◎) を長押しするとモニターの電源が切れます。

OSD ジョイスティック	機能	
◎ 押す	ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
	ナビゲーション OSD 表示時	ナビゲーション OSD を閉じます。 長押しするとモニターの電源をオフにできます。
◀◎ 左に倒す	ナビゲーション OSD 非表示時	スピーカーの音量を調節します。
	ナビゲーション OSD 表示時	OSD メニューを表示します。映像が画面に出力されていないときは入力端子を選択するメニューが表示されます。
◎▶ 右に倒す	ナビゲーション OSD 非表示時	スピーカーの音量を調節します。
	ナビゲーション OSD 表示時	PBP メニューを表示します。
◎↑ 後ろ (モニター背面側) に倒す	ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
	ナビゲーション OSD 表示時	ブルーライト低減モードの設定メニューを表示します。
◎↓ 前 (モニター画面側) に倒す	ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
	ナビゲーション OSD 表示時	モニターをオフにします。

ユーザー設定

OSD メニュー

- かんたん設定

- 1 OSD ジョイスティック (⏮) を押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (⏮) に倒して **OSD メニュー** を表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを押すか、右 (⏭) に倒すと [**かんたん設定**] のメニューにカーソルが移動します。
- 4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (⏮ ⏭) で選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (⏭) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (⏮) に倒します。
- 6 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[かんたん設定] の設定メニュー

メニュー かんたん設定	説明
明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。(ブルーライト低減モードや SUPER ENERGY SAVING がオンになっているときはコントラストの設定は出来ません。)
コントラスト	
音量	音量を調整します。 ヒント - 音量は OSD ジョイスティックを右 (⏭) に倒すと大きくなり、左 (⏮) に倒すと小さくなります。 - 前 (⏮) に倒すとミュートのオン / オフができます。
入力	各入力端子に接続されている機器を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。
画面サイズ	映し出す画面のサイズを変更します。
ワイド	映像ソースの解像度に関係なく画面いっぱいに表示します。
オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
シネマ 1	画面を 21:9 に拡大します。映像ソースのアスペクト比が 21:9 以下の場合、上下が切れて表示されます。(1080p のとき)
シネマ 2	画面を 21:9 に拡大します。シネマ 1 で映像ソースによって字幕が切れてしまう場合、シネマ 2 の設定にすれば字幕まで表示します。(1080p のとき)
1:1	映像ソースの解像度で表示します。

ヒント

- 本機の推奨解像度 (2560 x 1080) で表示している場合は、[ワイド]、[オリジナル]、[1 : 1] を設定していても、表示される映像は変わりません。
- インターレース表示の場合は、画面サイズは変更できません。

- 機能

- OSD ジョイスティック (⏻) を押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- OSD ジョイスティックを左 (⏻) に倒して **OSD メニュー** を表示します。
- OSD ジョイスティックを前後 (⏻ ⏻) に倒して、[機能] を選択します。
- OSD ジョイスティックを押すか、右 (⏻) に倒すと [機能] のメニューにカーソルが移動します。
- 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (⏻ ⏻) で選択します。
- OSD ジョイスティックを押すか、右 (⏻) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (⏻) に倒します。
- OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[機能] の設定メニュー

メニュー	機能	説明
SUPER ENERGY SAVING	High	SUPER ENERGY SAVING (スーパー エナジーセービング) を有効にして、より消費電力を抑えます。
	Low	SUPER ENERGY SAVING (スーパー エナジーセービング) を有効にして、消費電力を抑えます。
	オフ	SUPER ENERGY SAVING (スーパー エナジーセービング) を無効にします
ピクチャーモード	ユーザー	カラー設定で設定したお好みの画質を表示します。
	フォト	写真の閲覧に適した画質を表示します。
	シネマ	動画の閲覧に適した画質を表示します。
	ゲーム	ゲームのプレイに適した画質を表示します。

ヒント

- 合計節電量：モニターの使用中に節約できた電力です。
- 合計 CO2 削減量：合計節電量を CO2 に換算した値です。
- SAVING DATA (節電データ) (W/h)

	29UM65 (29 インチ)	29UB65 (29 インチ)
SUPER ENERGY SAVING (High)	7 W/h	5 W/h
SUPER ENERGY SAVING (Low)	7 W/h	5 W/h

- 節電量はパネルの種類によって異なります。したがって、これらの値はパネルメーカーごとに異なります。
- 「SUPER ENERGY SAVING」のオプションが「High」又は「Low」にする場合は、モニターの輝度はソースにより、高くか低くなります。
- LG では、これらの値を「broadcast video signal (放送映像信号)」に基づいて計算しています。(放送テレビを含む : IEC 62087)
- 上記の数値は、[SUPER ENERGY SAVING] 機能により節約できた消費電力を確認することが出来ます。



注意

- ブルーライト低減モード、SUPER ENERGY SAVING、ピクチャーモードは同時に使用できません。
- いずれかを設定すると、それまでに設定していた他のモードは自動的にオフになります。

-PBP(ピクチャーバイピクチャー)

- 1 OSD ジョイスティック () を押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 () に倒して **OSD メニュー** を表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 ( ) に倒して、**[PBP]** を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 () に倒すと **[PBP]** のメニューにカーソルが移動します。
- 5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 ( ) で選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 () に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 () に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[PBP] の設定メニュー

メニュー→PBP		説明
PBP		ひとつの画面に、接続された二つの機器を同時に表示します。
入力	メイン	メインとなる映像出力端子を選択します。画面右側に表示されます。
	サブ	サブとなる映像出力端子を選択します。画面左側に表示されます。
オーディオ		PBP で表示されているメイン / サブの出力される音声を切り替えます。
画面切換		PBP で表示されている画面のメインとサブを入れ替えます。
フル画面(サブ)		PBP で表示されているサブ画面を全画面で表示します。(かんたん設定⇒入力はこの設定の端子になります。)
画面サイズ	メイン画面またはサブ画面の縦横比を調整します。	
	メイン	ワイド 映像ソースの解像度に関わりなく、右半分全体に表示されます。
		オリジナル 映像ソースのアスペクト比で表示されます。
	サブ	ワイド 映像ソースの解像度に関わりなく、左半分全体に表示されます。
		オリジナル 映像ソースのアスペクト比で表示されます。



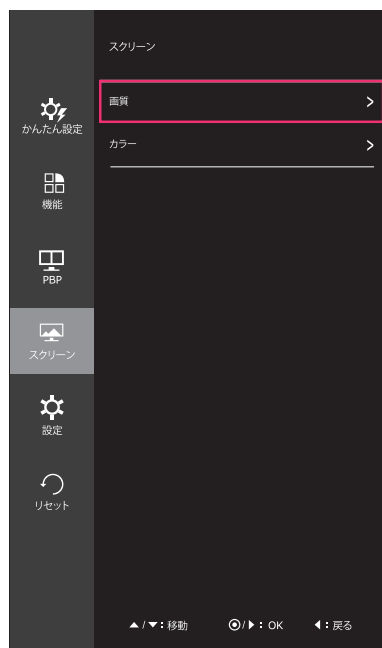
注意

- 映像ソースがインターレース表示の場合は、画面サイズの変更はできません。
- PBPで表示可能な組み合わせは以下の通りです。DVI と HDMI2 の組み合わせはPBPで表示できません。

	DVI	HDMI1	HDMI2	DisplayPort
DVI		○	X	○
HDMI1	○		○	○
HDMI2	X	○		○
DisplayPort	○	○	○	

- スクリーン

- OSD ジョイスティック (Ⓢ) を押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- OSD ジョイスティックを左 (Ⓢ) に倒して **OSD メニュー** を表示します。
- OSD ジョイスティックを前後 (Ⓢ) (Ⓢ) に倒して、[スクリーン] を選択します。
- OSD ジョイスティックを押すか、右 (Ⓢ) に倒すと [スクリーン] のメニューにカーソルが移動します。
- 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (Ⓢ) (Ⓢ) で選択します。
- OSD ジョイスティックを押すか、右 (Ⓢ) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (Ⓢ) に倒します。
- OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[スクリーン] の設定メニュー (ブルーライト節減モード、ピクチャーモードを設定しているときは応答速度以外の設定はできません。)

メニュー > スクリーン		説明
画質	シャープネス	画面のシャープさを調整します。
	ブラックレベル	オフセット レベルを設定します (HDMI のみ)。 • オフセット: 映像信号の基準として、これがモニターの映像が表示できる最も暗い色です。
		High 画質が明るくなります。
		Low 画質が暗くなります。
	応答速度	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。標準的な環境の場合、[Middle] を使用することをお勧めします。動きの速い映像の場合、[High] を使用することをお勧めします。 [High] に設定すると、残像 (オーバーシュート) が発生することがあります。そのような場合、表示ソースに合わせて適切なポジションに設定下さい。
		High 応答速度を [高] に設定します。
		Middle 応答速度を [中間] に設定します。
		Low 応答速度を [低] に設定します。
		オフ オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。
カラー	ガンマ	ガンマ値を設定する: ガンマ 0, ガンマ 1, ガンマ 2。高いガンマ値で表示された画像が白っぽくなります。低いガンマ値で表示された画像が黒っぽくなります。
	色温度	ユーザー
		• 赤 • 緑 • 青 赤、緑、および青のレベルを手動で設定します。
		画面の色を選択します。 Warm (暖色 5000K): 画面の色温度を暖色系 (より赤い) に設定します。 Medium (中間 6,500K): 画面の色温度を中間に設定します。 Cool (寒色 9,300K): 画面の色温度を寒色系 (より青い) に設定します。
	6 色相環	6 色 (赤_色合い, 赤_彩度, 緑_色合い, 緑_彩度, 青_色合い, 青_彩度, シアン_色合い, シアン_彩度, マゼンタ_色合い, マゼンタ_彩度, イエロー_色合い, イエロー_彩度) の色と彩度を調整し、設定を保存することにより、より細かくお好みの色合いを設定できます。 * 色合い: 画面の色調を調整します。 * 彩度: 画面の色の彩度を調整します。値を低くするほど、飽和度が下がり、明るくなります。値を高くするほど、飽和度が上がり、暗くなります。 * リセット: カラー設定をデフォルト設定に戻します。
	リセット	カラー設定をデフォルト設定に戻します。

- 設定

- 1 OSD ジョイスティック (Ⓢ) を押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (Ⓢ) に倒して **OSD メニュー** を表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (Ⓢ) に倒して、[**設定**] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (Ⓢ) に倒すと [**設定**] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (Ⓢ) で選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (Ⓢ) に倒すと設定項目を表示します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (Ⓢ) に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。

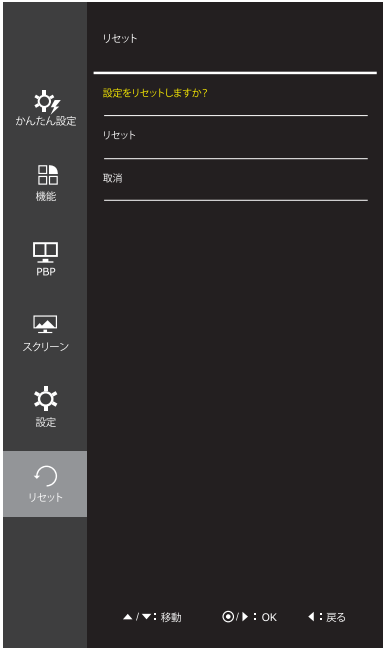


[設定] の設定メニュー

メニュー > 設定	説明
メイン音声	出力する音声を設定します。DVI-D は音声を転送できないので PC と Audio-In(ステレオミニジャック) をオーディオケーブルで接続してください。
言語	OSD 画面メニューなど、画面に表示される言語を選択します。
電源 LED	OSD ジョイスティックの前にある電源インジケータのオン / オフを切り替えます。
オン	電源インジケータが自動でオンになります。
オフ	電源インジケータがオフになります。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。
OSD ロック	オンにすると OSD の設定可能な項目を制限します。
オン	設定項目に制限をかけます。 オンにしても設定が可能な項目は以下の通りです。 ・ [かんたん設定] > [明るさ] [コントラスト] [音量] [入力] ・ [設定] > [OSD ロック] 上記以外の項目を設定するときは、[OSD ロック] をオフにしてください。
オフ	使用環境で設定可能な項目すべてを設定できます。

- リセット

- 1 OSD ジョイスティック (⏻) を押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (⏻) に倒して **OSD メニュー** を表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (⏻ ⏻) に倒して、[**リセット**] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (⏻) に倒すと [**リセット**] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 OSD ジョイスティックを前後 (⏻ ⏻) で選択します。



[リセット] の設定メニュー

メニュー▶リセット	説明
設定をリセットしますか？	
リセット	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。
取消	リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。

ブルーライト低減モードの設定

- 1 OSD ジョイスティック (Ⓢ) を押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを後ろ (Ⓢ) に倒して、[ブルーライト低減モード] を選択します。
- 3 画面右下にメニューが表示されます。
- 4 OSD ジョイスティックを後ろ (Ⓢ) に倒して、モードを選択します。



[ブルーライト低減モード] の設定メニュー

ブルーライト低減モード	説明
低減 1	画面表示を新聞紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。
低減 2	画面表示を書籍のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。
低減オフ	ブルーライト低減モードをオフにします。

困ったとき

画面に何も表示されません。	
モニターの電源ケーブルは差し込まれていますか？	電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかを確認してください。
電源ランプは点灯していますか？	- 電源ケーブルの接続を確認し、OSD ジョイスティックを押して、モニターの電源が入っているかを確認してください。 - 接続されている入力が無効になっていることを確認してください。[メニュー]-[入力]
電源ランプは点滅していますか？	- モニターが省電力モードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除させてください。 - PC の電源が入っているか確認してください。
「範囲超過」というメッセージは表示されていますか？	- PC（ビデオ カード）から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合、または出力される OS の解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に表示されます。 - 本説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数または、解像度に設定してください。
No Signal というメッセージは表示されていますか？	- 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 - 入力端子に接続されている映像と違うソースになっている可能性があります。OSD ジョイスティックを押してから右に倒して[入力]を選択して映像が出力している端子になっているかを確認してください。

画面に残像が生じます。	
モニターの電源を切っても残像が見えますか？	- 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 - モニターを長時間使用する場合は、スクリーン セーバーを使用して画面を保護してください。

画面のちらつき	
推奨のタイミングに設定されていますか？	HDMI 1080i 60/50 Hz のタイミングを使用すると、画面がちらつくことがあります。その場合は、タイミングを推奨モードの 1080P に設定してください。

ヒント

- 垂直周波数：**映像を表示するためには、蛍光灯のように毎秒何十回も画面をリフレッシュしなければなりません。
1 秒間で画面がリフレッシュされる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュ レート」と呼びます。単位は Hz です。
- 水平周波数：**横線 1 本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1 秒間で表示される横線の本数は、1 を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位は kHz です。

! メモ

- [コントロールパネル]>[画面]>[設定]の順に選択して、ビデオカードの解像度または周波数がモニタの許容範囲にあるかどうかを確認し、推奨される（最適な）解像度に設定してください。
- ビデオカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示領域が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのコンピュータまたはオペレーティングシステムによって異なる場合があります。また、ビデオカードによっては、一部の解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、コンピュータまたはビデオカードの製造業者にお問い合わせください。
- 一部のビデオカードは、解像度 2560 x 1080 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、コンピュータまたはビデオカードのメーカーにお問い合わせください。

表示色が適切に表示されません。

色が正常に表示されない。	• 表示色を 24ビット (True Color) 以上に設定します。Windows では、[コントロールパネル]>[画面]>[設定]>[画面の色]を選択してください。
表示色が不安定に表示されるか、モノクロで表示されていますか？	• 信号ケーブルが正しく端子に接続されているか確認してください。または、PC のビデオカードを取り付け直してください。※ ビデオカードの確認をする際は必ず PC の電源を切ってください。
画面に点が表示されていますか？	• モニターの映像が を使用すると、画面にぼんやりした点（赤、緑、青、白、または黒）が表示されることがあります。これは、正常な動作であり、製品の不良ではありません。

仕様

29UM65

29UB65

LCD 画面	タイプ	73.025 cm TFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) 画面 画面の対角線の長さ : 73.025 cm
	ピクセルピッチ	0.0876 mm x 0.2628 mm
解像度	最大解像度	2560 x 1080 @ 60 Hz
	推奨解像度	2560 x 1080 @ 60 Hz
映像信号	水平周波数	30 kHz ~ 90 kHz
	垂直周波数	DVI/DP: 50 Hz ~ 75 Hz HDMI: 25 Hz ~ 60 Hz
	同期	セパレート同期
入力コネクタ	DVI-D IN, HDMI IN1, HDMI IN2, DisplayPort, Audio In(PC), H/P	
電源	電圧	19 V --- 2.4 A
	消費電力 (標準)	オンモード : 31 W (ENERGY STAR® 標準) * 節電モード ≤ 0.5 W オフモード ≤ 0.5 W
AC/DC アダプタ	タイプ DA-48F19 (Asian Power Devices Inc. 製) または タイプ LCAP35 (LIEN CHANG ELECTRONIC ENTERPRISE 製) 出力 : 19 V --- 2.53 A	
環境条件	動作条件	温度 : 10° C ~ 35° C、湿度 : 10% ~ 80%
	保管条件	温度 : -20° C ~ 60° C、湿度 : 5% ~ 90%
スピーカーのワット数	7W + 7W	

29UM65

スタンドの傾きの調整	前方 / 後方 : -5° ~ 20° (ヘッド)	
寸法	モニターサイズ (幅 x 高さ x 奥行)	
	スタンド装着時	702.5 mm x 418.2 mm x 181.0 mm
	スタンドなし	702.5 mm x 328.2 mm x 63.8 mm
重量 (パッケージを除く)	6.2 kg	

29UB65

スタンドの傾きの調整	前方 / 後方 : -5° ~ 15° (ヘッド)	
寸法	モニターサイズ (幅 x 高さ x 奥行)	
	スタンド装着時	702.5 mm x 425.4 mm x 225.4 mm
	スタンドなし	702.5 mm x 321.0 mm x 43.2 mm
重量 (パッケージを除く)	6.8 kg	

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

* 電力の消耗レベルは異なる操作条件とモニターの設定によって異なる可能性がある。

* オンモードの場合、電力消耗は ENERGY STAR® テスト標準に準じて測定される。

* ENERGY STAR® はアメリカ環境保護機構の登録マークである。

工場サポートモード（プリセットモード、DVI-D/HDMI/PC DisplayPort）

プリセットモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
720 x 400	31.468	70.08	-/+	
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
640 x 480	37.5	75	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
800 x 600	46.875	75	+/+	
1024 X 768	48.363	60	-/-	
1024 X 768	60.123	75.029	+/+	
1152 x 864	67.5	75	+/+	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1600 x 900	60	60	+/+	
1680 x 1050	65.290	59.954	-/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
2560 x 1080	66.7	60	-/+	

HDMI タイミング（映像）

プリセットモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	備考
480P	31.50	60	
576P	31.25	50	
720P	37.50	50	
720P	45.00	60	
1080P	56.25	50	
1080P	67.50	60	

電源インジケータ

モード	LED の色
オンモード	点灯
節電	点滅
オフモード	OFF

正しくご使用いただくために

モニターを使用するときの正しい姿勢

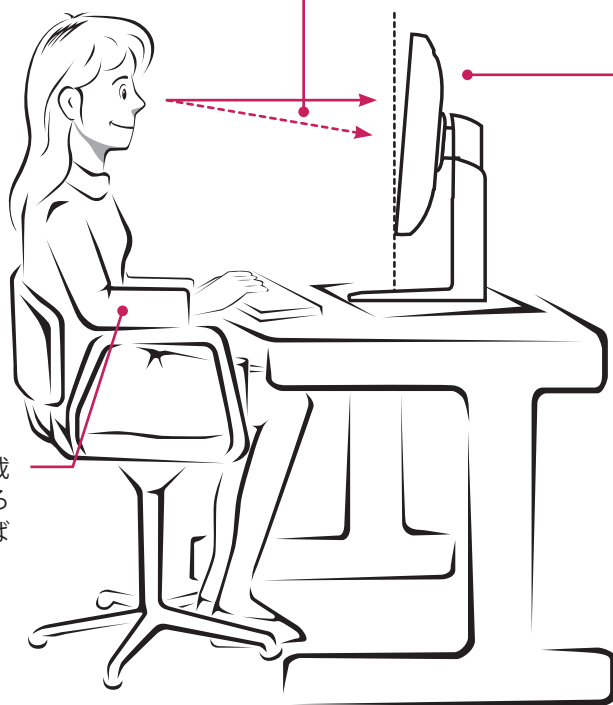
画面がわずかに目より低くなるように角度を調整します。

- 長時間の使用による疲労を軽減するため、1時間ごとに約10分間の休憩を取るようになしてください。
正しい姿勢で視聴できるよう、スタンドの角度を調節してください。

画面を見る視線が少し下を
向くようにします。

画面に蛍光灯などの光が反
射しない角度に調整します。

両手をキーボードに軽く載
せます。腕は、肘のところ
で曲げて前方に水平に伸ば
した状態を維持します。



**Declaration of Conformity**

Trade Name: LG

Model : 29UM65D,29UB65D

Responsible Party: LG Electronics Inc.

Address : 1000 Sylvan Ave. Englewood Cliffs
NJ 07632 U.S.A

TEL: 201-266-2534

*above information is only for USA FCC Regulatory

製品を使用する前に必ず安全上のご注意をお読みください。

取扱説明書（CD）は後で参照できるようにわかりやすい場所に保管してください。

製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。 保守が必要になった場合に備えて、下記にご記入ください。

モデル _____

シリアル _____

ENERGY STAR is a set of power-saving guidelines issued by the U.S.Environmental Protection Agency (EPA).



As an ENERGY STAR Partner LGE USA, Inc. has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.